

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	高畑 規正（トヨタ自動車株式会社）
実施期間	2019 年 10 月 21 日（月）～2019 年 10 月 25 日（金）
実施場所	ベトナム社会主義共和国・ホーチミン市 ホーチミン技術職業短期大学（HVCT）
研 修	技能評価者講習（SAT）・技能評価トライアル（SET）
実施職種	フライス盤 3 級

2019 年 10 月

結果概要

1. 対象者数：SAT 受講者数 9名 / 修了者数 9名
SET 評価者数 9名 受検者数 9名 / 合格者数 0名

2. 日程

日時	指導内容
10月21日（月） 8:30～16:30	【技能評価者講習（SAT） 1日目】 開講式 ・ スケジュール、注意事項連絡 【技能評価者講習】 ・ 「日本の職業能力評価制度テキスト」に基づく随行員説明 ・ 「技能評価者事前講習テキスト」に基づく講師講習 【トライアル会場確認】 ・ 会場、準備品確認 ・ 質疑応答
10月22日（火） 8:30～16:30	【技能評価者講習（SAT） 2日目】 【技能評価者講習】 ・ トライアル運営に関わる役割決め ・ チェックシート(評価者)内容の説明 【学科実施について】 ・ 学科実施要領説明 【加工手順について】 ・ 配布した資料と、実際に加工する際の注意点、相違について 【役割演習】 ・ 実技会場において、受付、説明役の役割演習(他の評価者は受検者役) 【評価方法の解説】 ・ HVCT 実習で制作した部品を題材に、みばえ(主観)評価方法や減点例を解説
10月23日（水） 8:30～16:30	【技能評価者講習（SAT） 3日目】 【技能評価者講習】 ・ 評価の際のグループ分けと役割分担 【課題製作デモンストレーション】 ・ 作業前の準備（実技の際の作業台レイアウトの参考になる様に準備した） ・ 課題製作 【各会場設営】 ・ 実技会場 ・ 工具、測定器が不足。また、作業台の南京錠のキーが紛失しており、会場設営に予想外に時間がかかった。 ・ 学科試験会場 ・ 技能評価会場と兼用のため、学科のみのレイアウト作り

10月24日（木） 8:30～16:30	【技能評価トライアル（SET） 1日目】 開会式 【学科試験】 ・受付 ・説明 ・試験 ・採点評価 【実技会場準備】 ・準備物、設営状況最終確認 ・トライアルグループ毎に機械操作練習。 全員にヒアリングし、各15分ずつ実施 実技会場機械修理 【実技トライアル】 ・第1グループ課題製作（打ち切り時間、清掃実施）
10月25日（金） 8:00～16:00	【実技トライアル】 ・第2グループ課題製作（打ち切り、清掃実施） 受検者1名、工具トラブルにより、時間延長 ・実技会場清掃、復帰 【実技課題評価採点】 ・会場レイアウト作り ・評価方法の再確認 ・失格判定方法の説明と、失格品の判定 ・みばえ、主観評価説明と、実際の評価 ・グループに分かれて課題測定、評価 ・帳票記入方法について説明 ・受講者アンケート記入 ・総括

3. 講評

旋盤評価経験者が約半数おり、初心者とペアを組ませることで、全体的にスムーズに進める事ができた。

また、トライアルを成功させようという一体感を感じた。本来の目的ではないが、評価者認定チェックシートに基づく内容で運営を観察。所々問題と感じる場面はあったが、評価者各自、内容を理解し運営をしていた。今後の評価者認定に期待が持てる。受検者への説明内容や、こちらが展開しようとする内容においても、先に評価者から同じ意見が出たり、改善が提案されたりする場面があり、意識や能力の高さを感じた。

一方、「午後は会議があり欠席したい」や「遅れる」と申し出る評価者があり、随行員が困窮する場面もありました（他国、他の講習会でも同様の事態があるとの事）。事前に入手したスケジュール通りに各試験会場の手配が出来ていなく、結果、スケジュールを大幅に調整しながらの実施。一部、目的とする内容が達成できずに終わってしまい残念。次回で巻き返しを図りたい。

事前に展開している資料の理解が悪く、実施要領に基づく会場準備の測定器や、評価の練習で使用する予定の課題が無かった。この点はハノイとの大きな違いで、やはり現地で面倒を見る機関(JICA等)や担当者がいると、もっと内容の濃い講習が出来たと思う。

使用する機械は問題ないが、工具、測定器の数が不足している。今回、予備工具があれば回避できたトラブルもあった。数を確保できない場合、試験実施回数を多くするという対応策もある。いずれにしても、現地入りする前の周知、確認を徹底したい。

受検者の練習不足を感じた（ある受検者は本番で初めて課題製作したとの事でした）。受検者の試験前の練習時間、練習方法の確立、学科試験への対応が必要と感じた。

4. 受講者へのアンケート結果

< SAT >

◆受講者 9 名（回答者 8 名）

満足度：	大変満足	=2	満足	=6	どちらともいえない	=0
役立ち度：	大変役立つ	=6	役立つ	=2	どちらともいえない	=0
継続期待度：	是非とも継続すべき	=4	継続すべき	=4	どちらともいえない	=0

【改善のための提案】

- ・参加者を増やして欲しい。
- ・認定書はベトナムでも認めて欲しい。
- ・より豊富な資料と多くの練習が必要。
- ・参加者の努力に対して直接的な経済的支援が必要。
- ・評価者の宿泊・交通費などの経費の支援がほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・南の色々な地方でこの試験を実現したい。
- ・開催する組織のリーダーの思いやりが欲しい。
- ・旋盤: 4 フライス盤: 6 CNC: 3

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度: 是非とも継続すべき = 1

【改善のための提案】

- ・受検者の人数を増やす。

【意見・感想・実施希望】

- ・旋盤 2・3 級、フライス盤 3 級

< SET >

◆評価者 9 名（回答者 9 名）

満足度：	大変満足	=2	満足	=7	どちらともいえない	=0
役立ち度：	大変役立つ	=6	役立つ	=3	どちらともいえない	=0
向上度：	大変向上した	=5	向上した	=4	どちらともいえない	=0
継続期待度：	是非とも継続すべき	=5	継続すべき	=4	どちらともいえない	=0

【改善のための提案】

- ・用具と試験場は標準を満たしてほしい。
- ・評価するために研修会場にはきちんと準備をしてほしい。
- ・評価者に対して直接的な経済的支援をしてほしい。
- ・ホーチミンの近隣地方まで広げてほしい。
- ・評価者の宿泊・交通費・食事の補助金がほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・旋盤: 4 フライス盤: 5 CNC: 2

◆受検者 9 名（回答者 9 名）

満足度：	大変満足	=8	満足	=1	どちらともいえない	=0
役立ち度：	大変役立つ	=7	役立つ	=2	どちらともいえない	=0
継続期待度：	是非とも継続すべき	=6	継続すべき	=2	全く継続すべきとは思わない	=1

【改善のための提案】

- ・産業の発展及び労働者のより良い経験のためにこの試験を今後も開催して欲しい。
- ・パラレルブロックを改善してほしい。（数の不足と品質が劣る）
- ・日本製のフライス盤を使ってほしい。
- ・質の高い機材で実技試験をやりたい。今回使用した機材はブレが多い。
- ・実技課題を事前にもらい 3 回練習したい。
- ・この技能検定試験は最低年 3 回行ってほしい。
- ・今後のために南北の評価者の人数をバランスよくしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・旋盤: 2 ・フライス盤: 3 ・NC・CNC の加工技術: 1

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度: 是非とも継続すべき =1

【改善のための提案】

- ・受検者の人数を増やす。
- ・日本基準の技能検定試験のセンターを作ります。

【意見・感想・実施希望】

- ・旋盤 2・3 級、フライス盤 3 級